



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96.9.12 No. 4464

〇〇沖縄県民投票の大勝利

有権者の過半数を 超す投票結果

九月八日、沖縄において、日米地位協定の見直しと米軍基地の整理縮小を問う県民投票が行なわれ、投票率五九・五三%、その内、基地の整理縮小に賛成する投票が八九・〇九%を数え、沖縄県民の圧倒的多数が、今ある米軍基地の整理縮小一即時撤去を自らの意志で明らかにした。

今回の投票については、当日の有権者数が約九〇万九千人内の約六割りが投票に参加し、約九割りが賛成に投票したといことは、有権者数の過半数を大きく超す県民が米軍基地縮小一撤去に賛成したということだ。とくに、沖縄でも大きな影響力をもつ自民党などが投票のポイコットを呼び掛けていたものの、その制動すら打ち破ってこれだけの投票結果を得たということの中に、米軍基地の存在や日本政府のこれまでの政策に対して沖縄県民がいかに怒り、憤りを感じていたかをよく物語っている(新聞記事、グラフ参照)。

今回の沖縄県民投票の結果について沖縄連憲共闘会議元議長の宜保幸夫さんは、「五〇%を超す投票率を目標に全力で運動を展開してきたので、この数字

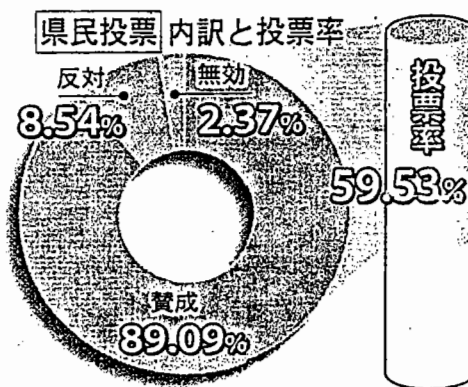
には大変喜んでいいる。沖縄県民は投票で勝利を得た、次は本土労働者が頑張る番だ」と訴えている(九月九日、関西実行委員会主催の「三里塚と沖縄、国鉄を結ぶ関西集会」での発言しよる)。

今度は、本土労働者が 自らの意志を示す番だ

一方、この投票結果に対して日本政府・橋本は、総選挙目前といわれる状況の中で完全に追い詰められている。

九月一〇日、橋本は、大田沖縄県知事と会談し、①普天間基地の移転、県道一〇四号越え実弾演習の本土移転などでの解決、②日米地位協定の見直しに全力を注ぐ、③「二一世紀・沖縄のグランドデザイン」構想の趣旨に沿って予算を計上する、④政府と沖縄の協議機関として「沖縄政策協議会」を設置するなど提案を行ない、大田知事を屈伏させ、取り込もうと必死になつていいるのだ。

しかし、普天間基地や一〇四号越え実弾演習の移転について沖縄県民は、一貫して「本土への移転反対、全ての基地撤去」を掲げて運動を展開し、本土労働者に訴えてきた。今回の橋本



の提案は、移設による沖縄・本土の米軍基地の強化と沖縄の永久基地化に侵略基地としての沖縄をあらためて強制するものであり、沖縄県民はもとより本土労働者としても絶対に認めることはできない。

今度は、われわれ本土労働者が、自らの意志をはっきりとあらわして闘いに立ち上がる番だ。沖縄県民投票の成功を受け、本土での安保・沖縄闘争を全力で闘いぬこう。

安保・沖縄・国鉄闘争の勝利をめざし、一一・一〇労働者集会(日比谷野外音楽堂)に根こそぎで決起しよう!

県民投票の結果を報ずる
「琉球新報、大勝利だ。」

県民投票

投票率 59.53% 日米政府に強い圧力

賛成9割 有権者の過半数

知事の対応が焦点

県民投票の結果

投票者数	541,638
賛成	482,538
反対	46,232
(無効 12,856・不受理など 12)	

「半数超え評価」

大田知事 歴史的な意思表示

琉球新報 THE RYUKYU SHIMPO

尚学院

「基地縮小」を選択

9/29・30 日動労千葉 定期大会 (第23回)

今夜は、本土労働者の番だ! 総決起しよう!

新刊「10万人合理化粉砕」 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!